

#	検討対象業務	携帯側担当	既存側担当	進捗状況	会合経緯
①	第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	—	<ul style="list-style-type: none"> 干渉検討のシステムパラメータについて確認 今後の干渉検討は、基本的に <ul style="list-style-type: none"> FDD／TDD場合分けせず、上り／下り両方の検討で代替 検討システムは、LTE-Advancedに包含するで進める 携帯同士の干渉検討について、机上検討、フィルタ、アンプの試作による評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> H24年7月末よりメール議論開始 H24年8月～10月：検討手法、パラメータの議論(8.29携帯AH、9.5全体AH、10.1携帯AH、10.12全体AH) H24年11月～<u>H25年2月</u>：机上検討結果について議論(11.27関係者打合せ、12.07全体AH、12.12携帯AH、1.18関係者打合せ&携帯AH、1.23全体AH、2.25関係者打合せ) <u>H25年3月：共用検討結果とりまとめ文書議論(3.11関係者打合せ)</u>
②	放送監視制御(Sバンド)	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	NHK、テレ朝、TFM、TBS	<ul style="list-style-type: none"> 干渉検討を進めるため、放送システムのシステムパラメータや検討手法を精査 干渉検討のシステムパラメータについて確認 今後の干渉検討は、基本的に <ul style="list-style-type: none"> 1対1の検討を基本とする(陸上移動局、陸上移動中継局、小電力レピータについては、1対1の検討では共用の判断ができない場合は、確率的調査も実施) 同一、隣接チャネル干渉検討を実施で進めることで意識あわせ 1対1の机上検討、実機による音声評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> H24年7月：放送事業者プレゼンについて議論 H24年8月：放送側干渉調査について議論 H24年9月～10月：検討手法、パラメータの議論(9.5全体AH、10.12全体AH) H24年11月～<u>H25年2月</u>：1対1の場合の机上検討結果議論(11.27関係者打合せ、12.07全体AH、1.18関係者打合せ、1.23全体AH、2.14音声評価試験、2.25関係者打合せ) <u>H25年3月：共用検討結果とりまとめ文書議論(3.11関係者打合せ)</u>
③	3.4GHz帯音声FPU	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	NHK、TFM、TBS	● 同上	● 同上
④	3.4GHz帯音声STL/TTL/TSL	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	NHK、TFM、TBS	● 同上	● 同上
⑤	衛星ダウンリンク(Cバンド)	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	スカパーJSAT、KDDI、ドコモ、NTT	<ul style="list-style-type: none"> 干渉検討を進めるため、衛星システムのシステムパラメータや検討手法を精査 干渉検討のシステムパラメータについて確認 今後の干渉検討は、基本的に <ul style="list-style-type: none"> 1対1の検討を基本とする(陸上移動局、陸上移動中継局、小電力レピータについては、1対1の検討では共用の判断ができない場合は、確率的調査も実施) 衛星地球局を同一場所で集約、典型的な衛星地球局を設定するなど、効率的な検討を進められるよう工夫する 同一、隣接チャネル干渉検討を実施 複数携帯無線局からの干渉、受信フロントエンド飽和、伝搬モデルの影響について検討する 1対1、複数基地局から衛星地球局への影響、通常基地局／小セル局からの影響、短時間／長時間干渉の影響などの机上検討を実施 	<ul style="list-style-type: none"> H24年6月：関係者会合にて、衛星側パラメータについてメールベースで収集することで合意 H24年9月～10月：検討手法、パラメータの議論(9.5全体AH、10.12全体AH) H24年11月～<u>H25年2月</u>：1対1の場合の机上検討結果議論(11.27関係者打合せ、12.07全体AH、1.18関係者打合せ、1.23全体AH、2.25関係者打合せ) <u>H25年3月：共用検討結果とりまとめ文書議論(3.11関係者打合せ)</u>
⑥	移動衛星フィーダリンクのダウンリンク(Cバンド)	EA、ドコモ、KDDI、SBM、UQ	スカパーJSAT、KDDI、ドコモ、NTT	● 同上	● 同上